**酒 税**

令和５年10月1日現在の手持品課税等対象酒類の酒税納税申告書

兼酒税の手持品課税等の適用を受ける旨の届出書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 整理番号 | ※ |
| 収 受 印令和 　年 　月 　日　　　税務署長 殿　提出先は、貯蔵場所を　所轄する税務署長です。 | 申 告 者 兼 届 出 者 | （住所）〒　　　－　　　　 | （電話）　　　　 　　　　  |
| （ふりがな） |
| （氏名又は名称及び代表者氏名）　　　　 |
| 個人番号又は法人番号 | 　　　　 ↓　個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし、ここから記載してください。 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （問い合わせ先） | （担当者）　　　　　　　　　　（電話）　　　　　　　　　　　　 |
| 貯　蔵　場　所 | （貯蔵場所の所在地）〒　　　－　　　　 | （電話）　　　　 　　　　  |
| （ふりがな） |
| （貯蔵場所の名称） |
| 下記のとおり、令和５年10月1日現在における手持品課税等対象酒類の酒税納税申告書（期限後申告書・修正申告書・還付請求申告書）を提出します。所得税法等の一部を改正する等の法律（平成29年法律第４号）附則第39条第14項又は同条第17項の規定を受けるので、同条第15項又は第19項により準用する第７項の規定により届出します。記 |
| 納付すべき税額等の計算 | 摘　　要 |
| この申告書に対する税額 | 算出税額 | ① | （税額算出表Ｍ欄の差引酒税額）　　　　　　　　　　　円 | 該当する項目をチェック(☑)してください１　申告する理由　　□　引上対象酒類の所持数量1,800以上　　□　上記に該当しないが還付を受けるため２　貯蔵場所の区分　　□　卸売免許場　　□　小売免許場　　□　料飲店等　　　□　蔵置所等３　一括申告の有無　　□　有（　　　　　場）　　□　無４　他署管内の貯蔵場所の有無　　□　有（　　　　　場）　　□　無 |
| 端数切捨額 | ② | （①の100円未満の額） 円 ①がマイナスの場合は記載不要です |
| 納付すべき税額 | ③ | （①－②）　　　　　　　　  00円 |
| 還付を受ける金額 | ④ | 　　　　円①がマイナスの場合に記載します |
| 修正申告の場合の修正申告前の確定額 | 納付すべき税額 | ⑤ | 00円 |
| 還付される税金の受取場所 |  |  銀行・金庫・組合 農協・漁協 |  |  本店・支店 出張所本所・支所 |
| 還付を受ける金額 | ⑥ | 円　　　　　 | 郵便局名等 |  | 預金種類 | 普通 | 当座 | 納税準備 | 貯蓄 |  |
| □ | □ | □ | □ | □ |
| 口座番号記号番号 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 差引納付税額（③－⑤＋⑥－④） | ⑦ | 　　　　　　　　　00円 | （期限後申告又は修正申告する理由） |
| 還付税額（④） | ⑧ | ▲　　　　　　　　　円 |
| 通 信 日 付 印 | ※ | 確認者 | ※ | 身元確認 | ※　□済　□未済 |  | ※確認書類　個人番号カード／通知カード　運転免許証・その他(　　　　) |
| 修正申告の場合の当初の申告書提出年月日の申告書提出年月日 | ※ | 確認者 | ※ | 審査者 | ※ | 納期限 | ※ |
| 税理士法上の書面提出の有無  | □ |  |  税理士法第30条の書面提出有 | 税理士署名 | 　　 |
| □ |  |  税理士法第33条の2の書面提出有 |

（注）１ ※印欄は、記載しないでください。

２　「税理士法上の書面提出の有無」欄は、当該申告書を提出する税理士又は税理士法人が記載しますので、事業者の方は記載しないでください。

|  |
| --- |
| その他参考となる事項 |
|  |